

株式会社AIRDO



## 安全への取り組み

2017年10月17日

運輸事業の安全に関するシンポジウム2017

- 会社概要
- 航空法・航空法施行規則・社内規程
- 2014年 嚴重注意・事業改善命令
- 安全の取り組み

運航開始日	1998年12月20日
事業内容	定期航空運送事業（1998年10月 事業免許取得）
代表者	代表取締役社長 谷 寧久
本社所在地	札幌市中央区北一条西二丁目9 オーク札幌ビルディング 8階
資本金	23 億2,505 万円

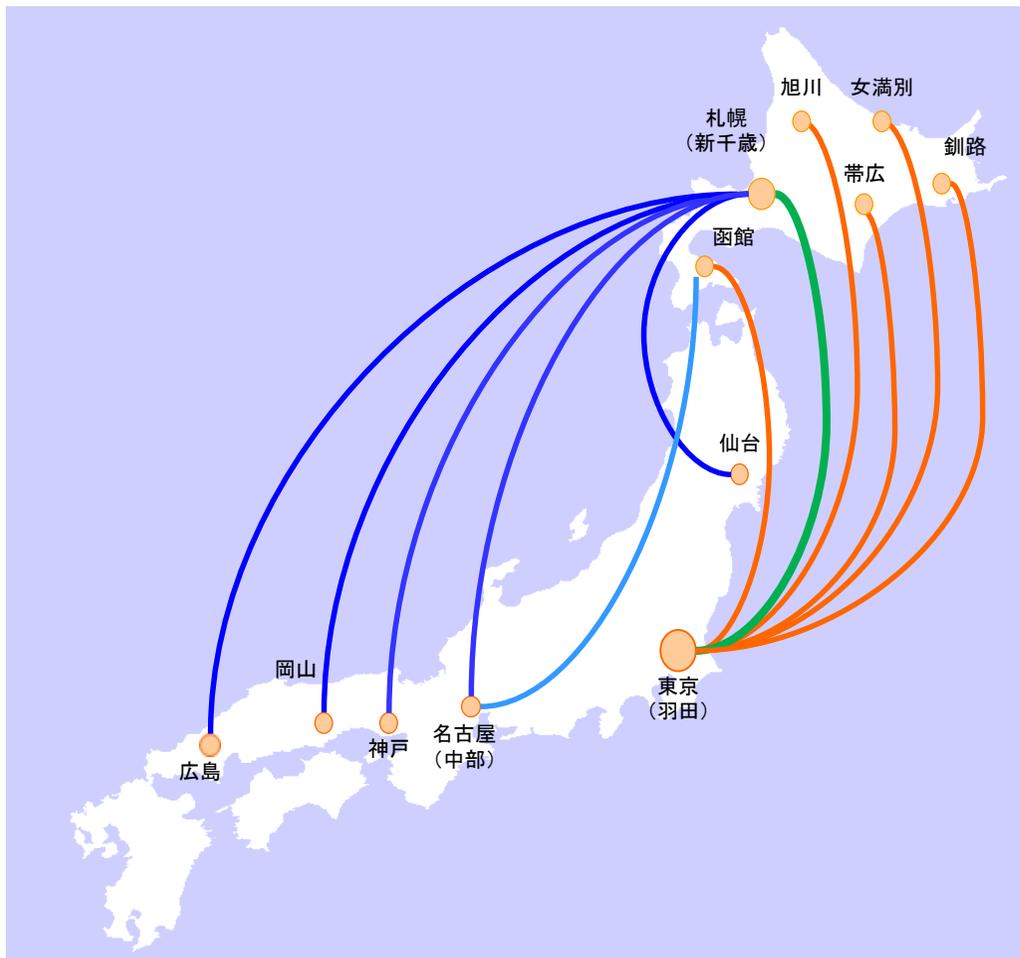
## 従業員数

一般従業員	573名
運航乗務員	131名
客室乗務員	244名
合計	948名

2017年7月1日現在



## ■ ネットワーク



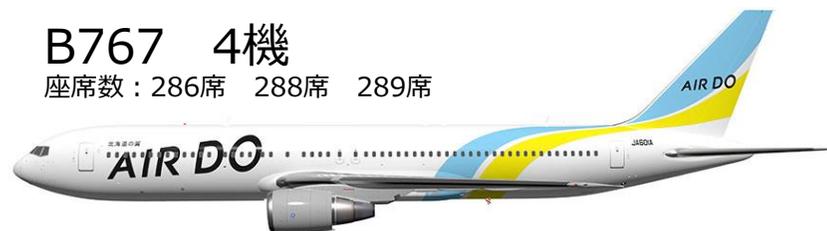
- 東京=札幌 × 1 1
- =旭川 × 3
- =函館 × 2
- =女満別 × 2
- =帯広 × 3
- =釧路 × 2
- 札幌=仙台 × 5
- =岡山 × 1
- =神戸 × 2
- =名古屋 × 3
- =広島 × 1
- 函館=名古屋 × 1

1 2 路線 3 6 往復便 / 日

## ■ 機種

B767 4機

座席数：286席 288席 289席



B737 9機

座席数：144席



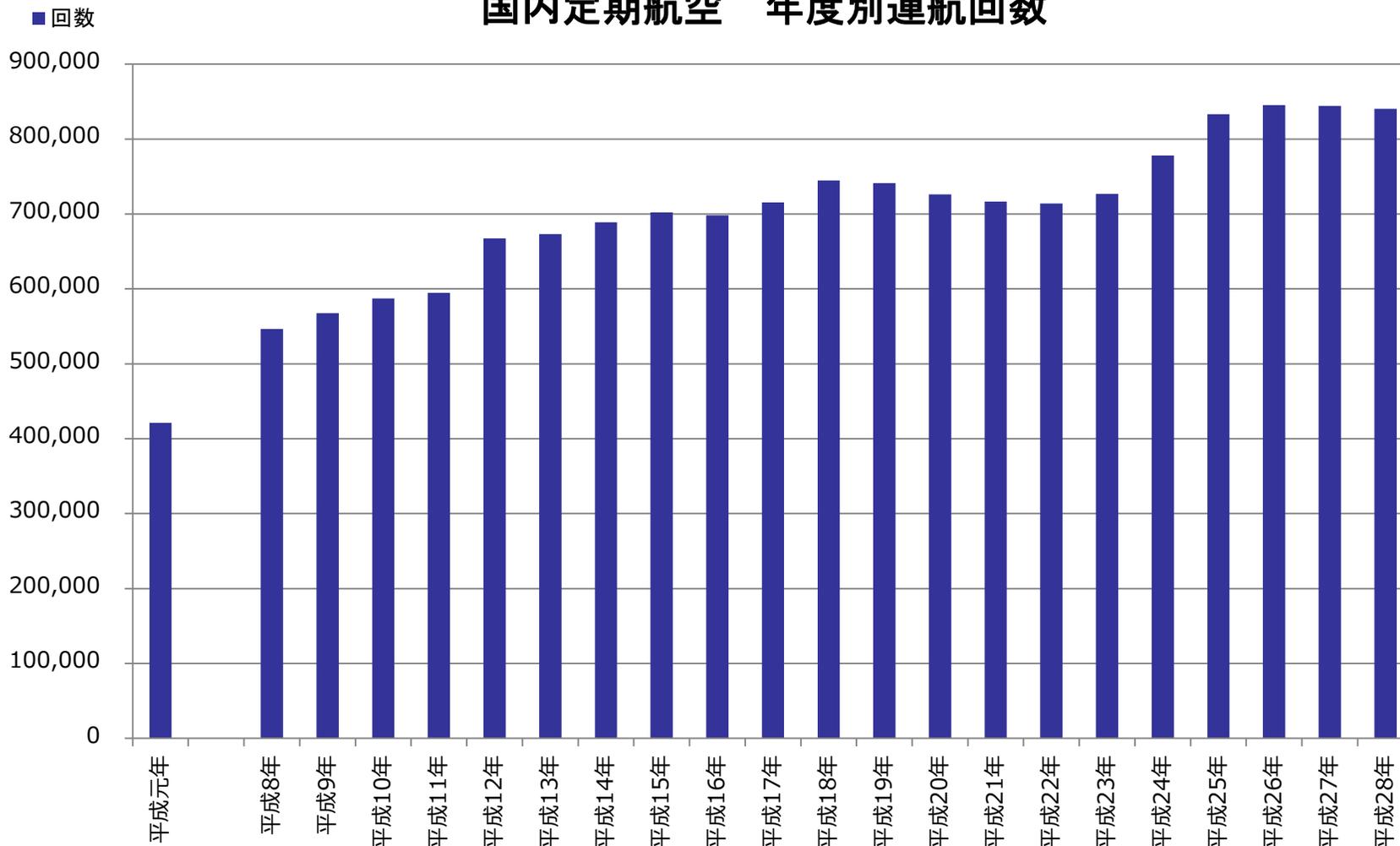
## 航空法・航空法施行規則

### 航空法の構成

第1章	総則
第2章	登録
第3章	航空機の安全性
第4章	航空従事者
第5章	航空路、空港等及び航空保安施設
第6章	航空機の運航
第7章	航空運送事業等
第8章	外国航空機
第9章	無人航空機
第10章	雑則
第11章	罰則



### 国内定期航空 年度別運航回数



# 嚴重注意

## 整備記録の不備



2014年9月26日

ボーイング767型機の主翼部品のメンテナンスについて、整備期限がすぎているにもかかわらず、システム上では期限を超過していないよう不正な処理を行い、整備を先送りした事例

ほかにも整備の実施期限が超過している事例が数件あった

何が問題であったのか？



- 整備部門における不明確な責任分担
- 上司による点検の不備

整備部門では3点の改善策を策定

2014年12月19日

機長昇格訓練を兼ねて乗務した副操縦士が降下中、スピード超過など定められた規定を逸脱した操縦を実施した。

しかし、悪天候下での着陸だったことを斟酌して、教官は「良好」と評価。

訓練評価が不適切だったにも関わらず、副操縦士の機長昇格が決まった。



運航部門では、訓練をつねに適正に行うために2点の改善策を策定



## 整備部門での取り組み

1. 整備計画の作成および確認手順の明確化、  
必要な知識の教育ならびに要員の確保を推進
2. 整備記録の確認業務担当組織の明確化、  
整備各部門の分掌の見直し
3. 定期的な事後チェックの方法に関する手順の作成

## 運航部門での取り組み

**1.** 訓練教官の任用および教官教育の見直し

**2.** 訓練実施状況のモニターと教官相互の力量を向上

## 安全管理体制に関わる改善の取り組み

### 安全行動指針



判断  
遵守

曖昧な判断はせず、確信がない場合は安全を最優先に行動します

報告  
共有

情報は迅速かつ的確に報告し、組織を超えて共有します

理解  
傾聴

周囲の意見に耳を傾け、自分の考えを声にして、コミュニケーションを大切にします

プロ  
使命

教訓から学び、自覚と責任を持ってプロフェッショナルとしての技倆を高め続けます

## 1. 安全意識の浸透

## 2. コンプライアンスの徹底

## 3. マネジメント層による適切な管理の強化



行政処分の風化防止のため「安全ビデオ」を作成（2016年度の取り組み）



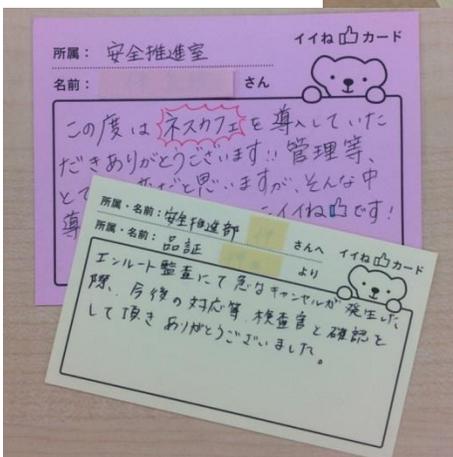
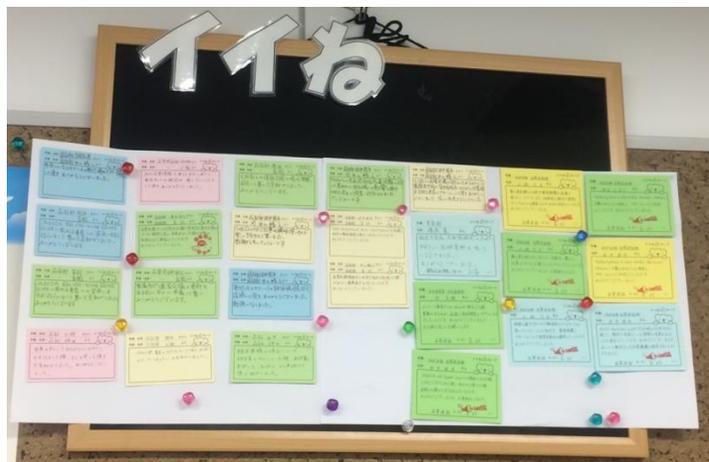
安全ビデオの活用

- ・新入社員への教育
- ・SMS定期教育（全役職員対象）  
で視聴

## ✈ イイねカード

★ **ありがとう!** ★ の気持ちを伝える活動

「イイねカード」を活用し、助けてもらったり、アドバイスをもらったりしたら相手に「ありがとう」の感謝の気持ちをメッセージで書いてポストに投稿する。一定期間掲示され、贈られた相手へカードが届く。



2016年度  
年間投函枚数：3,106枚

## ✈ 「やる気スイッチ・オン」教育

行政処分を受け、職場改善の一環として技術本部内で研修を計画。

「やる気スイッチ・オン(パート1)」教育  
相手をやる気にさせるためには、自分はどうのよう  
に行動すべきか、どのように相手に接するべきかを  
教官の経験談をもとにレクチャーする研修。

2015年7月からスタートし  
36回開催、すでに技術本部  
内で266名が受講。

管理職を中心に9月から  
パート2を開始。



# ✈️ 安全統括管理者メッセージの発行・安全グッズの配布

安全統括管理者メッセージ「AIR DO SAFETY NEWS」を多客期前に発行。これと連動して、安全について考えるきっかけアイテムの安全グッズを全社員に配布し、安全啓発活動を実施。



## 安全講演会

「安全講演会」  
社外講師をお招きし、テーマは安全についてだけではなく、チームマネジメントなどまで広げ、講演会を開催。

全社員向け、マネジメント層向け(部長クラス以上)、それぞれ年1回開催している。



## 出前講座 (機内緊急事態発生時の援助方法)

緊急事態発生時に、同乗している社員等の協力が、お客様の安全を守る上で必要不可欠であり、緊急時に求められる最低限必要な知識を確認し、理解を深める機会として実施。



### 《参加した社員の感想》 (一部抜粋)

- ・出張等で搭乗する際は緊急時に備えた心構えが必要だと感じた。
- ・配慮を要するお客様への脱出援助が勉強になった。
- ・脱出事案が発生しないよう、また発生時に備え、部門で出来ることをしていきたいと改めて感じた。

ご清聴、ありがとうございました。



<https://www.airdo.jp/>

機内で安全にお過ごしいただくために、揺れに対する対応策などをベアドゥ(キャラクター)がレクチャーします。  
AIRDOホームページから、ぜひご覧ください。

機内の安全のために  
FOR YOUR OWN SAFETY

北海道の翼  
AIR DO

